



ほけんだより 7月号

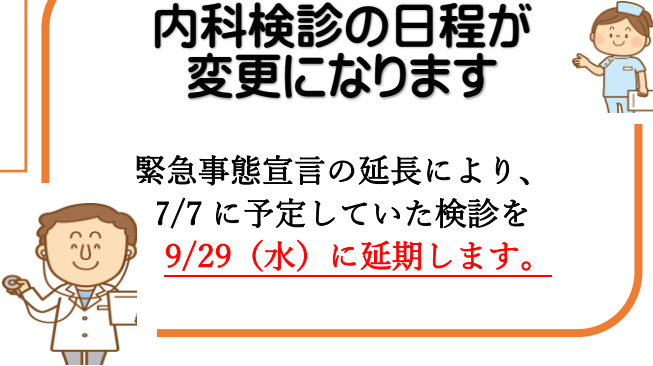
令和3年7月 白鳥保育園 看護師

暑い日が続くようになり、熱中症が心配な時期となりました。体が暑さに慣れていない梅雨明けや急激に気温が上がった日は特に注意が必要です。涼しい時間帯に外遊びをして、喉がかわいていなくても水分をこまめに摂取するようにしましょう。

6月の感染症
ウイルス性胃腸炎……1名
とびひ……1名

内科検診の日程が変更になります

緊急事態宣言の延長により、7/7に予定していた検診を **9/29 (水) に延期します。**



夏になると増えてくる感染症（夏かぜなど）

ヘルパンギーナ

のどの痛みを伴う、39℃以上の高熱が2～4日続きます。**のどの奥が赤くなり、小さな白っぼいぶつぶつ**ができ、1週間ほどで治癒します。抗生剤は無効。対症療法となります。喉の痛みで食欲が落ちるので脱水に注意！下痢・嘔吐の症状がでることもあります。

手足口病

手足や口の中に水泡や赤い湿疹がでるのが特徴。口の中の痛みで食欲が落ちることがあります。発熱を伴うこともありますが、抗生剤は無効。症状のピークは3～4日目で1週間ほどで治癒します。対症療法が中心です。

プール熱 (咽頭結膜熱)

アデノウイルスによる感染症で、**38度以上の高熱、のどの痛みやはれ、結膜炎**といった症状を引き起こします。解熱剤や、目薬などの対症療法となります。水を介してうつりやすいという点では、同じくアデノウイルスが原因の**流行り目（流行性角結膜炎）**にも注意が必要です。

その他 **とびひ**・・・かゆみが強く、ジュクジュクした水ぼうができたなら要注意！！体のほかの場所やお友達にもうつってしまうことがあります。皮膚の感染症です。早めに皮膚科を受診しましょう。

